



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社  
コード番号 9006 URL <https://www.keikyu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 秋山 進一

TEL 045-225-9390

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け / 電話会議のみ)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,062	47.5	10,933		11,549		9,115	
2020年3月期第1四半期	87,770	16.3	10,902	24.8	10,407	24.5	7,032	25.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 9,041百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 4,929百万円 ( 33.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	33.10	
2020年3月期第1四半期	25.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	910,227	256,405	28.1
2020年3月期	888,412	267,655	30.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 255,630百万円 2020年3月期 266,643百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.00		8.00	16.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想については、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しは立たず、今後の業績や財務状況への影響等が不透明であるため、引き続き未定としております。配当予想額の開示が可能となった段階ですみやかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,000	36.5	16,500		18,000		14,500		52.65
通期	255,000	18.5	15,500		18,000		15,000		54.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	275,760,547 株	2020年3月期	275,760,547 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	375,089 株	2020年3月期	374,623 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	275,385,691 株	2020年3月期1Q	275,387,875 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって景気が厳しい状況で推移したほか、4月から5月にかけて緊急事態宣言が発出され、さまざまな施設の休業や外出の自粛等により、当社グループの交通事業およびレジャー・サービス事業を中心に甚大な影響を及ぼしました。

このような厳しい事業環境のなか、当社グループは、すべての事業において、お客さまと従業員の感染防止対策を行いつつ、安全・安心の徹底を図り、良質なサービスの提供の継続に努めました。

以上の結果、営業収益は460億6千2百万円（前年同期比47.5%減）、営業損失は109億3千3百万円（前年同期は営業利益109億2百万円）、経常損失は115億4千9百万円（前年同期は経常利益104億7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は91億1千5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益70億3千2百万円）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

## 交通事業

鉄道事業およびバス事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出の自粛等の影響を受け、輸送人員が大幅に減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は161億6百万円（前年同期比49.0%減）、営業損失は89億2千万円（前年同期は営業利益52億2千2百万円）となりました。

## 不動産事業

不動産販売業では、前期の大型分譲マンション引渡しの反動などにより減収となりました。

不動産賃貸業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う店舗休業等の影響を受け、賃料収入が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は70億9千9百万円（前年同期比67.6%減）、営業利益は4億4千9百万円（前年同期比85.6%減）となりました。

## レジャー・サービス事業

ビジネスホテル業では、京急EXホテル・京急EXインは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う宿泊客の減少により減収となりました。

レジャー関連施設業では、京急開発(株)は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休業要請を受け、一部施設において臨時休業したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は36億2千5百万円（前年同期比60.7%減）、営業損失は19億4千9百万円（前年同期は営業利益17億5千3百万円）となりました。

## 流通事業

百貨店業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、客数が減少したことなどにより減収となりました。

コンビニエンスストア・物品販売業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う鉄道の輸送人員の減少、臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、駅ナカ店舗を中心に客数が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は193億5千2百万円（前年同期比22.6%減）、営業損失は4億8百万円（前年同期は営業利益7億1百万円）となりました。

## その他

京急建設(株)は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う工期の見直しおよび一時中断などにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は73億2千5百万円（前年同期比18.4%減）、営業利益は2千4百万円（前年同期比77.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえ、流動性資金確保のための借入等に伴う現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ218億1千4百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少はありましたが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ330億6千4百万円増加しました。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末と比べ112億4千9百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、緊急事態宣言解除により、経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報をもとに業績予想を公表することといたしました。

なお、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しは立たず、先行き不透明な状況が続くことが予想されますが、同感染症の影響を2022年3月期第2四半期までと仮定し、業績予想を算定しております。また、上記見通しは、新型コロナウイルス感染症の収束時期等により、変動する可能性があります。詳細につきましては、別途開示しております「業績予想に関するお知らせ」および「2021年3月期第1四半期 決算補足説明資料」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,555	59,593
受取手形及び売掛金	12,591	9,551
商品及び製品	2,532	2,622
分譲土地建物	41,016	44,087
仕掛品	799	1,593
原材料及び貯蔵品	331	329
その他	8,475	7,441
貸倒引当金	△123	△123
流動資産合計	101,179	125,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	336,260	335,620
機械装置及び運搬具(純額)	45,667	44,426
土地	186,411	186,721
建設仮勘定	84,915	82,940
その他(純額)	8,829	8,817
有形固定資産合計	662,085	658,526
無形固定資産	7,390	7,599
投資その他の資産		
投資有価証券	68,051	68,675
長期貸付金	689	669
繰延税金資産	6,506	6,945
退職給付に係る資産	19,192	19,457
その他	23,469	23,408
貸倒引当金	△153	△153
投資その他の資産合計	117,756	119,003
固定資産合計	787,232	785,129
資産合計	888,412	910,227

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,126	20,329
短期借入金	121,224	121,917
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	3,602	335
前受金	7,996	11,853
賞与引当金	1,615	1,275
役員賞与引当金	104	—
災害損失引当金	290	—
その他の引当金	63	15
その他	31,622	30,787
流動負債合計	209,646	196,514
固定負債		
社債	110,000	125,000
長期借入金	203,511	235,537
繰延税金負債	6,622	4,762
役員退職慰労引当金	437	410
退職給付に係る負債	10,895	11,504
長期前受工事負担金	62,075	63,260
その他	17,566	16,832
固定負債合計	411,109	457,306
負債合計	620,756	653,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	172,144	160,825
自己株式	△660	△660
株主資本合計	259,381	248,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,906	9,543
為替換算調整勘定	135	△165
退職給付に係る調整累計額	△1,779	△1,810
その他の包括利益累計額合計	7,261	7,567
非支配株主持分	1,012	775
純資産合計	267,655	256,405
負債純資産合計	888,412	910,227

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業収益	87,770	46,062
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	67,234	48,088
販売費及び一般管理費	9,633	8,907
営業費合計	76,867	56,996
営業利益又は営業損失(△)	10,902	△10,933
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	438	391
持分法による投資利益	181	—
その他	121	338
営業外収益合計	761	745
営業外費用		
支払利息	1,045	1,032
その他	211	328
営業外費用合計	1,256	1,361
経常利益又は経常損失(△)	10,407	△11,549
特別利益		
災害損失引当金戻入額	—	290
工事負担金等受入額	234	264
固定資産売却益	119	45
特別利益合計	353	600
特別損失		
臨時休業による損失	—	311
固定資産圧縮損	234	264
固定資産除却損	438	25
その他	29	8
特別損失合計	702	610
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	10,058	△11,559
法人税、住民税及び事業税	2,914	149
法人税等調整額	127	△2,561
法人税等合計	3,041	△2,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,016	△9,147
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	7,032	△9,115



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,016	△9,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,940	637
為替換算調整勘定	27	△500
退職給付に係る調整額	△173	△30
その他の包括利益合計	△2,087	105
四半期包括利益	4,929	△9,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,945	△8,808
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△232

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	31,084	20,255	8,124	24,626	3,679	87,770	—	87,770
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	516	1,667	1,098	379	5,302	8,963	△8,963	—
計	31,600	21,922	9,223	25,005	8,981	96,733	△8,963	87,770
セグメント利益	5,222	3,133	1,753	701	105	10,915	△13	10,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	15,648	5,830	2,941	18,719	2,922	46,062	—	46,062
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	458	1,268	684	633	4,402	7,447	△7,447	—
計	16,106	7,099	3,625	19,352	7,325	53,510	△7,447	46,062
セグメント利益又は損失(△)	△8,920	449	△1,949	△408	24	△10,804	△128	△10,933

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。